



佐賀市立金立小学校 学校便り 第46号

きんりゅう

学校教育目標 「志高く 心豊かに 学ぶ 金立」



令和6年2月13日発行 文責 校長 副島 和久

地域のみなさん ありがとう集会



学校 HP もご覧ください

2月8日(木)に、金立小学校では、「地域のみなさん ありがとう集会」を行いました。日頃から、金立小学校のために、たくさんの支援・協力をしてくださっている方々を学校に招き、子どもたちがその感謝を伝えるための会として、毎年、行っているものです。一昨年までは、コロナ感染防止のこともあり、代表の方のみの参加でささやかに行っていましたが、昨年度からは、お世話になった方にできるだけ多く参加していただき、体育館で行うことを再開いたしました。この日も、北島公民館長さんを始め、関係の多くの方にご参加いただきました。子どもたちからは、各学級で手分けして準備した手作りの感謝状やプレゼントなどを手渡しました。



交通指導員 石橋さんに感謝状を渡す子ども



ミンボランティアの皆さん



金立警察官駐在所の小野さんに感謝状を渡す子ども



児童を代表して地域の皆さんにお礼の言葉を述べる子ども

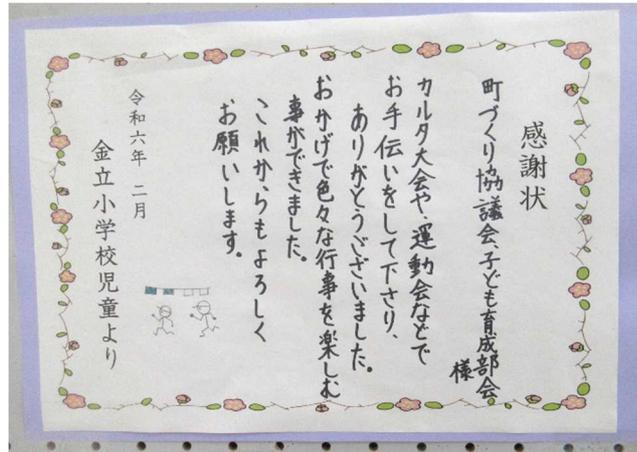


玄関でお出迎えをする3年生の子どもたち

金立小学校は、令和4年度から コミュニティ・スクール として、学校と地域が連携しながら、地域の皆さんとの協働による学校教育の充実と「地域と共にある学校づくり」を目指して取り組んでいます。令和5年度も、地域学校協働活動推進員の 大坪 賢二 さんのコーディネートにより、「地域・学校の協働事業」「登校時の見守り・交通指導」「教育活動支援ボランティア」「幼稚園との連携」を4つの柱として充実した取組ができたと思っています。

この「地域のみなさん ありがとう集会」においても、改めて、地域の多くの方に金立小学校が支えられており、子どもたちが見守られていることを実感いたしました。今後とも、よろしくお願いいたします。

今回は、個人だけでなく、金立町ふれあい運動会や金立郷土かるた大会で大変お世話になっている金立まちづくり協議会子ども育成部会、金立町少年の主張大会でお世話になっている金立青少年健全育成会などの団体にも感謝状を贈らせていただきました。先日、公民館にその感謝状を貼っていただいているのを見かけて、とても温かい気持ちになりました。



三味線と長唄に親しもう！ 特別非常勤講師による授業

佐賀県教育委員会に届け出て、教員免許状をもたないけれど、優れた知識や技術を有する人材を非常勤講師として幅広く学校教育に活用させてもらうための「特別非常勤講師制度」という制度があります。金立小学校ではこの制度を利用して、昨年度から、長唄演奏家で三味線方の杵屋 五洲（きねやごしゅう）先生に来ていただき、4、5、6年生の音楽の授業で、日本の伝統的な音楽についての授業を行っています。

2月7日(水)は4年生の授業を行いました。子どもたちは初めて、目の前で聴く三味線の音色を聴き味わい、長唄をうたうという初めての体験を通して、日本伝統音楽における声の出し方や歌い方などについて学んでいました。来週は5年生、再来週は6年生の授業を予定しています。

【4年生の感想から】

- ・五洲先生の三味線をひいている音はとてもよかったです。あんなに速く指を動かしてはぼくはすごいなあと思いました。
- ・春夏秋冬全部の曲をきいたけど、春は「あたたかくなった」という感じがしたし、夏は水の感じがしました。また、秋は虫の声が「チンチロリン」と聞こえたし、冬は寒くて静かということがよく伝わりました。
- ・たくさんの動物(蚕、猫、象)や木の命をもらって作られている三味線は、他の楽器とは音が違い、とても深みがあり、いい音でした。

写真上 五洲先生の三味線の演奏を聴く子どもたち

写真中 五洲先生といっしょに長唄「勸進帳」の一節をうたう子どもたち

写真下 授業後に五洲先生の周りに集まって質問している子どもたち

